

## 1 - 16 1993 年北海道南西沖地震の余震活動 ( 3 )

### Aftershocks of the 1993 Hokkaido-Nansei-Oki Earthquake (3)

北海道大学理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

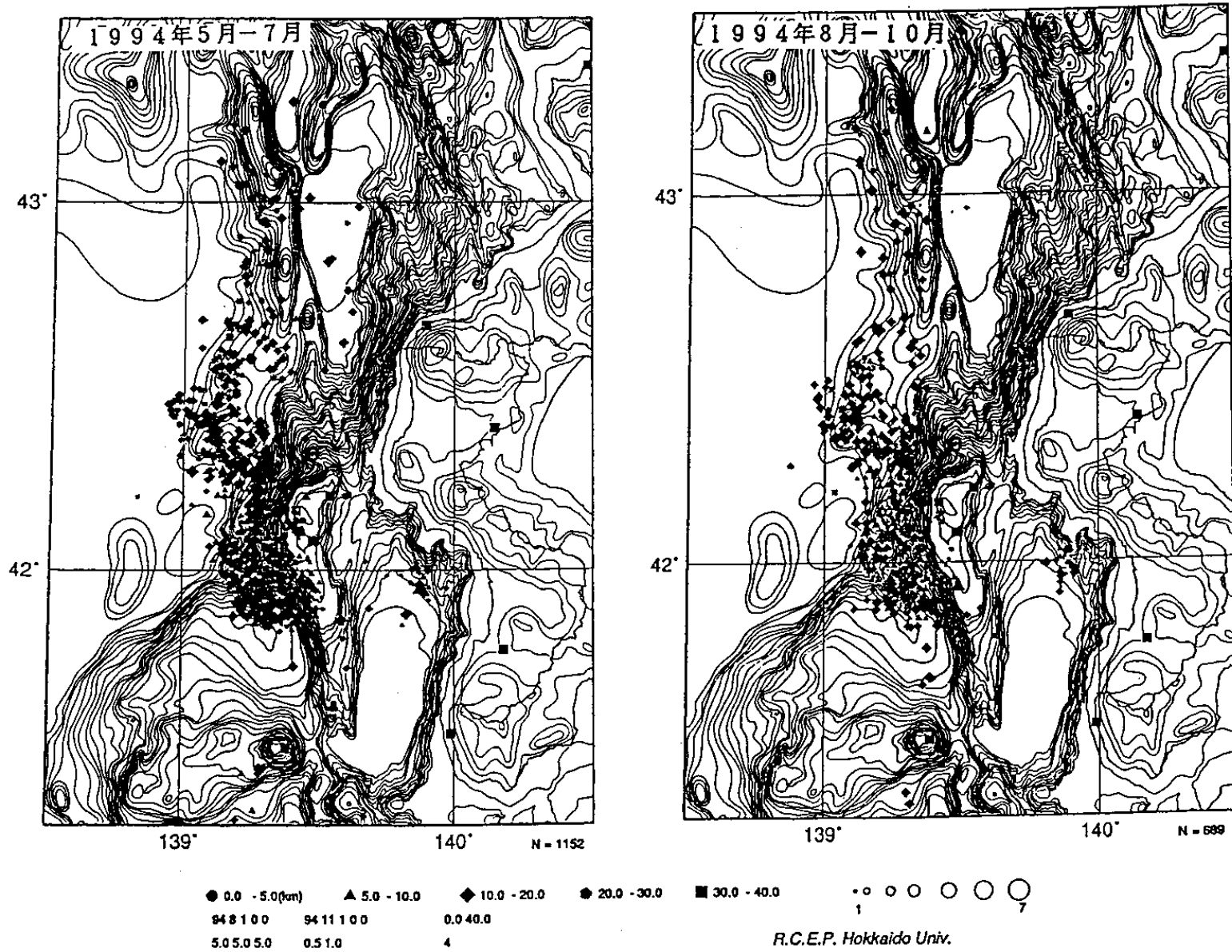
1994 年 4 月までの余震活動については既に報告してある<sup>1), 2)</sup>。第 1 図 にその後の余震の震央分布を示すが、空間分布はほとんど変化していない。海底地形に対応するように 4 つのブロックに余震分布を分けることができる ( 第 2 図 )。

余震活動の減衰の様子を 第 3 図 に示す。3 ヶ月の地震総数で 1994 年 2 月 ~ 4 月の 875 回<sup>2)</sup>から次の 3 ヶ月で 1152 回に増加しており、5 月中旬から余震活動が余震域全体で活発になっている。しかし、余震発生空間的な集中や、余震域の拡大はみられない。

奥尻島内の浅発地震活動については、当初 3 ヶ所あった活動域のうち、A と B の活動は 1994 年 5 月にはほぼ完全に終息した。しかし、C の活動はまだ続いていて、6 月中旬から 7 月中旬に活動が活発化したほか、9 月の終わりから 10 月初めにも集中的に地震が発生した。この時期は 10 月 4 日の北海道東方沖地震 ( M8.1 ) の直前にあたるが、関連があるかどうかは不明である。

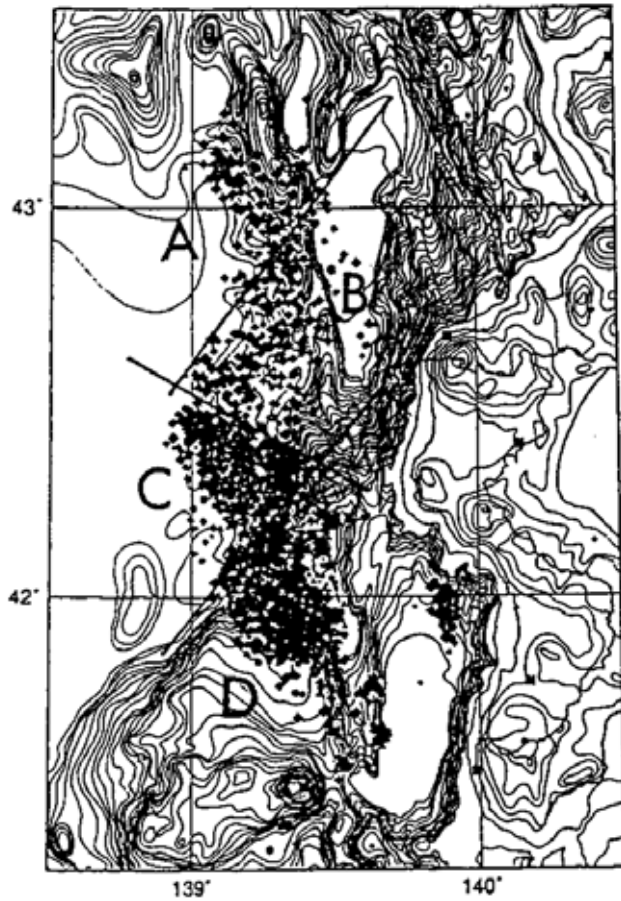
#### 参 考 文 献

- 1 ) 北大理学部：1993 年北海道南西沖地震の余震活動，連絡会報，51 ( 1994 )，12-20 .
- 2 ) 北大理学部：1993 年北海道南西沖地震の余震活動 ( 2 )，連絡会報，52 ( 1994 )，20-22 .
- 3 ) 鈴木貞臣ほか：1984 年奥尻島群発地震の活動，北大地球物理研究報告，45 ( 1985 )，51-63 .



第1図 余震の震央分布図。海底地形は水路部発行 100 万分の1 海底地形図による。

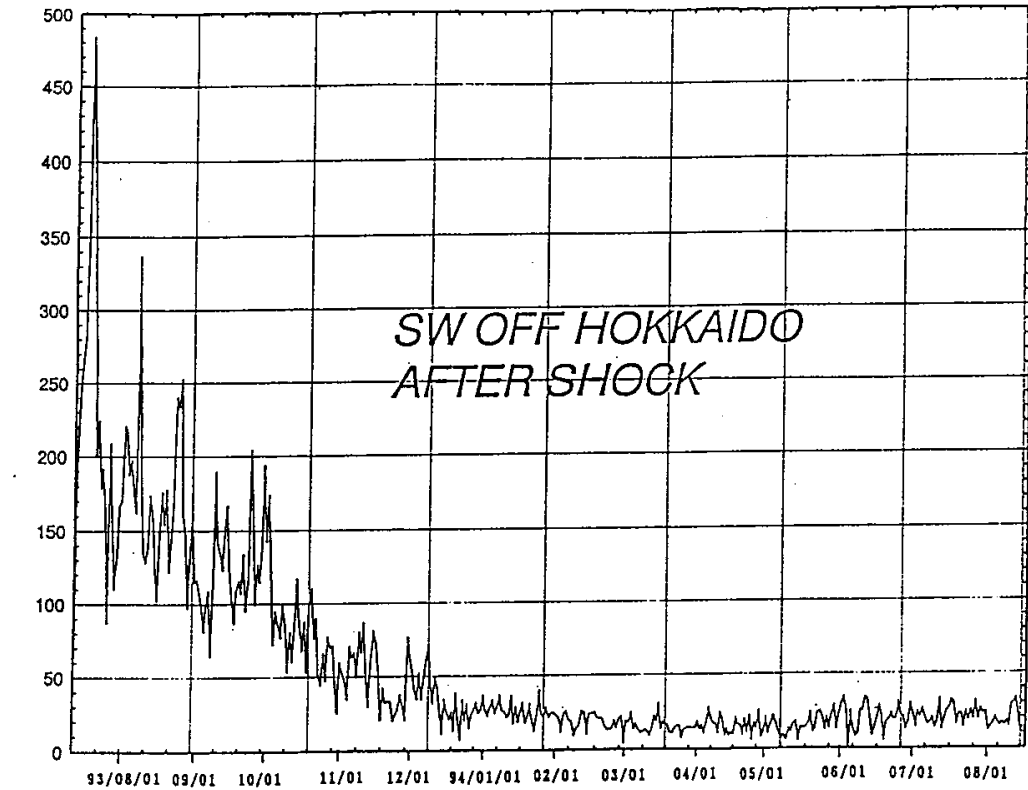
Fig. 1 Epicenter distributions of aftershocks. Left : May-July, 1994, Right : August-October, 1994.



第2図 余震域と海底地形の対応

Fig. 2 Blocking of the aftershock region in relation to the sea bottom topography.

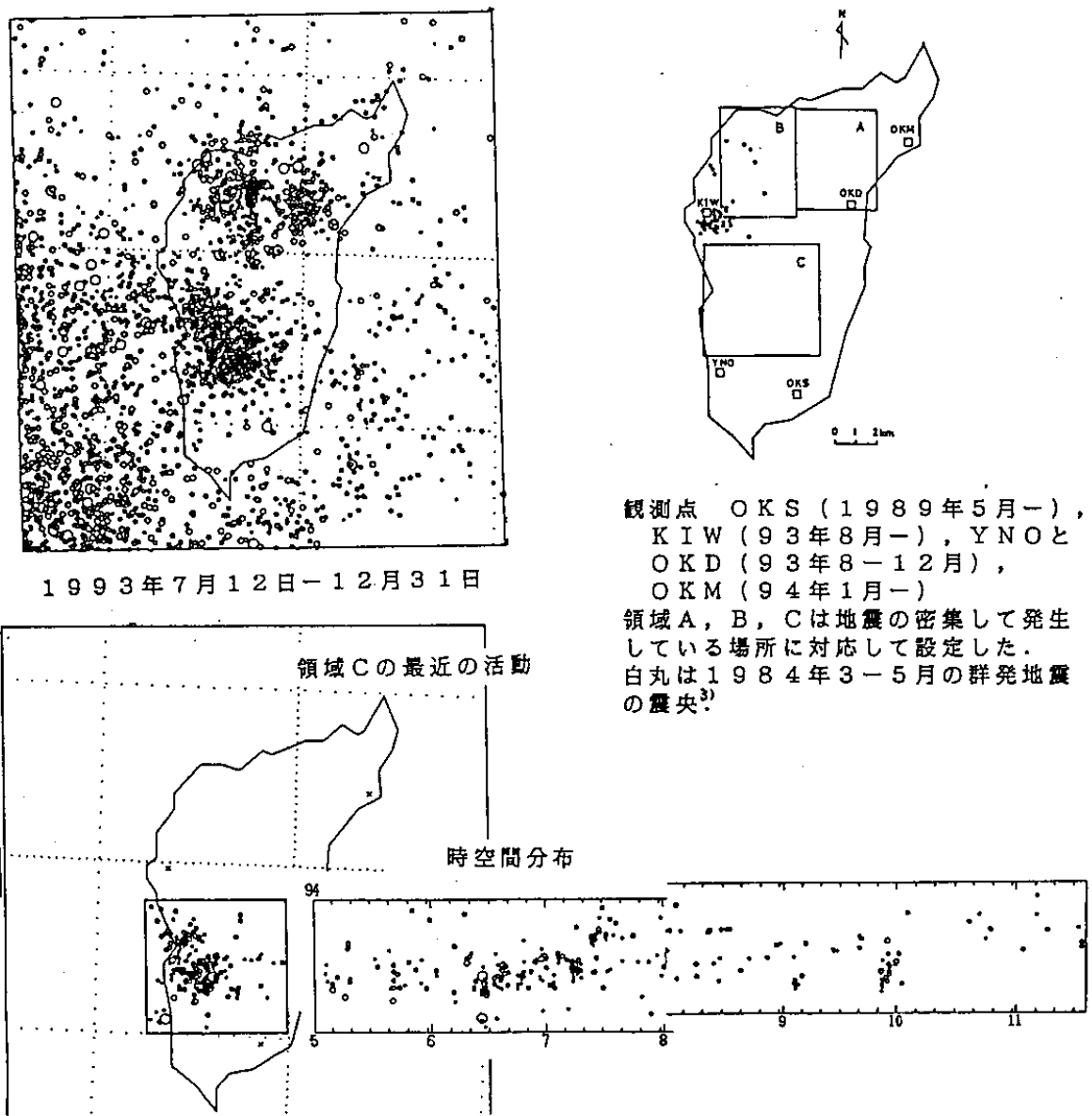
1993年北海道南西沖地震の余震活動



震源決定された地震の日別回数。奥尻島の浅発地震は数えていない。(本震から数日間は震源決定出来ない余震が多い)

第3図 日別余震回数

Fig. 3 Daily number of aftershocks.



第4図 奥尻島の浅発地震活動

Fig. 4 Shallow seismicity in the Okushiri island. Epicenter distribution during July 12-December 31, 1993. Seismic stations (squares) and active area A, B, and C. Space-time distribution in C region.